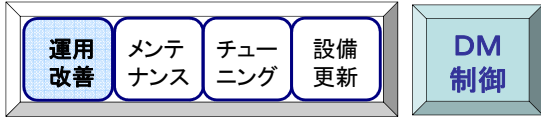


『コンセント・動力』編

(コンセント・動力)



給茶機の停止

- 給茶機を停止すれば節電できます。
(利用頻度が少なくなる夏場は、節電活動のひとつの対策として)

計算例

給茶機を停止すると...
(給茶機10台分の事例)

■ 節電効果 : **節電効果 5万円/年** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 10kW
節電電力量 約 3,100kWh

■ 対策内容 : 給茶機の停止

■ 計算式 : 節電電力(kW) = 消費電力 × 対象台数
節電電力量(kWh) = 1台当り給湯量 × 昇温する温度
× 対象台数 × 対象日数 ÷ 860kcal/kWh

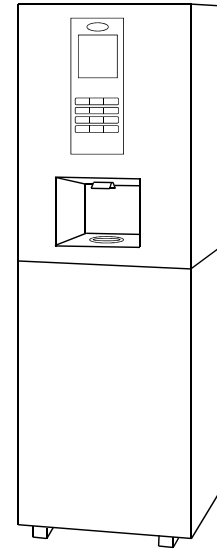
(試算条件)

消費電力: 1.0kW/台
対象台数: 10台
1台当り給湯量: 10ℓ/日(仮定)
昇温する温度: 75℃ (給水温度15℃と給湯温度90℃の差)
対象日数: 365日/年

ポイント

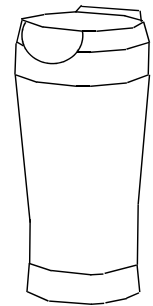
■ 停止に際して給茶機内の溜まり水の排水や、給湯再開時の水質確保等の配慮が必要です。

参考



給茶機
利用

例えば...



水筒
持参